

# 東小ニュース

## 神舞出前授業

1月27日（火）に、大波野神舞実行委員長の小野秋生様や大波野神舞保存会の皆様をお招きして、3年生を対象とした神舞出前授業を行いました。大波野神舞は、今から245年前、江戸時代中期の天明元年頃から始まったとされており、山口県指定無形民俗文化財となっています。子どもたちは小野様より神舞の説明を受けた後、体育館で実際に神舞を観させていただきました。また、神舞で使用する鬼の面や鈴、扇、衣装等を触らせていただいたり、舞の基本的な足の動きを教えていただいたりして、神舞に対する理解を深めました。貴重な体験をさせていただいた皆様、ありがとうございました。



## 全校児童 長縄とび練習

1月30日（金）の業間時間に、2月26日（木）に開かれる「ぴよんぴよん大会」に向けて、全校児童で長縄とびの練習を行いました。この活動は、縦割り班で長縄とびの記録に挑戦することを通して、ふれあいを深めることを目的としています。6年生を中心に記録更新を目指してどの班も一生懸命に取り組んでいました。縦割り班活動は、異学年が交流することより、社会性（おもいやり、助け合い）やリーダーシップ、責任感等を養うことが期待されます。微笑ましく頼もしい姿がたくさん見られました。

